

議 会 報

# ふっさ

No. 30

昭和52年 1月20日  
福生市議会事務局  
☎ 0425-51-1511(代)

賀  
春



寒い北国からの訪問者が、今年も多摩橋付近から下流にかけてたくさん飛んで来ました。カモ、サギ、ユリカモメなどの群にまじって、ひととき大きく大白鳥の幼鳥が2羽見えました。

これからも、たくさんの野鳥が来てくれるように、自然を大切にしましょう。

—写真は南公園下流で写す—

# 新春を迎えて



議長 貫井喜代次



副議長 川窪清一

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、皆様方の御清福と御繁栄を心からお祈り申し上げます。

昨年暮れの衆議院議員選挙後の新しい政府のもとで、国政がスタートいたしました。国内の経済は、石油ショック以来、依然として不況とインフレが続いており、今年も日常生活は苦難の年になると思われています。市の台所も、貧弱な財政力であるために財源難でそのやりくりも大変であります。市民の皆様は多種多様な御要望を実現するために、今年もできるだけ市政の経費節減に努めるとともに、より一層自主財源を確保しつつ、国や都に対しても強力な財源獲得の運動を続けていき、最少経費で最大の効果があがるように心がけていきたいと思っております。

現在進行中の公共下水道事業も皆様の絶大な御協力を得まして、着々と進み、おかげさまで第一期事業も五十二年度をもって完了する予定であり、引き続き市内全域の第二期事業に着手するわけであります。

このような事業が予定どおり進んでいるということは、ひとえに市民の皆様方の御協力があったからこそでありまして、深く感謝申し上げます。

又、待望久しかった市民会館も新しく生まれかわり、本年完成し開館できることになり、皆様方の御利用が待たれるわけであります。

さらに、市政上からも大きな懸案である福生駅周辺の改造計画も、差し迫った大事業であると考えられます。こうした山積している諸事業も、市民の皆様方の深い御理解と御協力によって、一日も早く都市的施設の整備をし、名実ともに福祉社会の実現のために、私も議決機関である議会という立場から終始、公正に、しかも慎重に協議を重ね、かつ積極的に諸問題を解決し、市民の皆様方の御期待に沿えるよう努力していく覚悟であります。

何とぞ本年も旧に倍して、深い御理解と御協力をくださるようお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

## 議員

- |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 原 敏子 | 原 山 | 松 山 | 原 田 | 村 野 | 森 田 | 村 尾 | 鈴 木 | 山 崎 | 竹 田 | 指 田 | 宇 佐 | 田 村 | 小 林 | 小 塚 | 関 米 | 東 正 | 大 野 | 宮 沢 | 高 波 | 末 次 | 岩 田 | 塩 野 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

- |       |                   |    |                 |    |                            |    |              |     |          |     |                  |     |         |     |                        |     |       |     |         |     |                  |     |                 |     |  |       |             |    |                   |    |             |
|-------|-------------------|----|-----------------|----|----------------------------|----|--------------|-----|----------|-----|------------------|-----|---------|-----|------------------------|-----|-------|-----|---------|-----|------------------|-----|-----------------|-----|--|-------|-------------|----|-------------------|----|-------------|
| 10月2日 | 横田基地対策特別委員会<br>陳情 | 6日 | 厚生委員会行政視察(7日まで) | 7日 | 総務委員会<br>収益事業議長会関東支部<br>総会 | 8日 | 一市二町ソフトボール大会 | 12日 | 全国都市問題会議 | 18日 | 東京都市収益事業組合議<br>会 | 19日 | 議会報編集会議 | 20日 | 青梅・羽村・福生地区都<br>市下水路組合議 | 22日 | 厚生委員会 | 23日 | 議会運営委員会 | 25日 | 総務委員会行政視察(26日まで) | 27日 | 関東市議会議長会理事<br>会 | 29日 | 西多摩農業共済事務組合<br>議<br>会<br>第五回臨時会、全員協<br>議<br>会、恵庭市議来庁 | 11月4日 | 福生市青少年問題協議会 | 5日 | 三多摩上下水(第一委員<br>会) | 9日 | 都議長会理事会、三多摩 |
|-------|-------------------|----|-----------------|----|----------------------------|----|--------------|-----|----------|-----|------------------|-----|---------|-----|------------------------|-----|-------|-----|---------|-----|------------------|-----|-----------------|-----|--|-------|-------------|----|-------------------|----|-------------|

## 議会日誌

50年度一般会計決算

11,052万円の黒字

厳しい経済不況の中で終わった昭和50年度決算は、1日目の本会議で収入役の説明を受け、質疑の後、委員21人で構成する「昭和50年度福生市一般会計決算審査特別委員会」をつくり、10日に委員会を開き、高波忠委員長、東田正治副委員長のもとで長時間にわたり活発な質疑が行われました。最終日の本会議では賛成と反対の意見があり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

質疑

歳入

おくれた国の補助金

翌年度に繰り越す

問 一般会計全体の調定額八十二億五千余万円に対し、収入未済額が十一億七千余万円もある。これは国の補助事業が多いことから必然的に出るものと思うが、このように多額に出た理由は何か。

企画財政課長 防衛補助の交付決定のおくれによるもので、武蔵

野幹線排水路関係で六億四千余万円、中央幹線排水路関係で一億三千余万円、テレビ共同受信施設関係で一千余万円、その他市民会館の最終決定が遅く、翌年度への繰り越し措置をとったことなどが原因である。

問 軽自動車においても車検が必要となったが、百万円もの税金の収入未済額があるのはなぜか。又、米軍の関係はどうなっているのか。

税務課長 当市は車検のいらぬバイク類が多く、所有者の移動も激しいためである。又、米軍関係は全部完納されている。

衆議院議員選挙が終わりホッと一息入れる間もなく、八日から今年四回目の定例会が十四日間にわたって開かれました。この定例会では昭和五十年の六会計決算のほか、条例改正四件、補正予算五件、その他五件の計十四案件が審議され、市長案とおり決まりました。

一 日 目 議案の審議に入る前に四人の議員から一般質問が約二時間半にわたって活発に行われました。続いて市長提出の人事院勧告に伴う職員給与のベースアップ及び自然災害に対する弔慰金と援護資金の額を引き上げるための条例改正や人件費を主に七千三十四万五千円を追加し、総額七十二億七千三百五十五万一千円とする五十一年度一般会計補正予算ほか四特別会計を各委員会に付託、五十年の一般会計決算認定は、委員二十一人で特別委員会をつくらせて付託し、残った議案は明日審議することにして第一日は終わりました。

第4回 定例会

二 日 目 前日に審議できなかった議員と職員に期末手当(ボーナス)を支給するための条例二件を原案どおり決め、五十年決算五件及び道路の認定、廃止案を委員会に付託、昭島市境の五日市街道交差点改良工事の契約案を原案とおり決定して二日目を終わりました。

三 日 目 一日目と二日目で委員会付託となつた十五議案と、九月の定例会に出された請願について、委員長から委員会の審査経過と結果の報告があり、五十一年度の一般会計補正予算六号と五十年の一般会計・国保会計決算認定は起立採決し、賛成多数で可決、認定、請願は賛成多数で不採決。又五十二年一月で任期満了となる助役と収入役については現職の人をそれぞれ同意し、さらに十二月二十四日で任期満了となる福生市選挙管理委員会の委員と補充員の選挙を指名推選で四人ずつ選んで第四回目の定例会を閉会いたしました。

審議日程

12月 8日	本会議
9日	一般質問 議案審議 本会議
10日	議案審議 決算特別委員会
13日	厚生委員会
14日	建設委員会
15日	総務委員会
16日	議会運営委員会
21日	本会議 委員会審査 報告・議案 審議

12月 28日	上下水(第二委員会) 全国競輪主催地議会議長会
11日	都議長会定例会
13日	防衛庁陳情
16日	全国議長会評議員会
17日	立川・横田基地対策連絡協議会総会、青梅線・五日市線・八高線期成同盟会
22日	総会
29日	飯称市民会館及び公民館建設特別委員会
30日	狭山火葬場組合議会 福生伝染病院組合議会
2日	議会運営委員会
6日	飯称市民会館及び公民館建設特別委員会
8日	第四回定例会(第一日目)、全員協議会
9日	第四回定例会(第二日目)、全員協議会
10日	昭和五十年福生市一般会計決算審査特別委員会
13日	厚生委員会
14日	建設委員会
15日	総務委員会
16日	横田基地対策特別委員会 全員協議会
21日	議会運営委員会 第四回定例会(第三日目)、全員協議会
24日	西多摩衛生組合議会
28日	御用納め

一般会計決算額の推移

年 度	歳 入	歳 出
46	18億5,031万円	17億7,313万円
47	22億2,472万円	22億1,430万円
48	40億5,999万円	39億3,920万円
49	54億5,477万円	54億 107万円
50	70億7,426万円	69億4,983万円

滞納者への督促  
電話作戦で効果

問 市民税の収入未済額約四千万円の処理の見直しはどうか。

答 税務課長 個別訪問による徴収や電話での督促などで効果を上げている。又、口座制度のPR、分納計画の推進、手形の利用等でも相当効果が上がっていると思う。

問 市税の滞納の内訳を伺いた

答 税務課長 五万円以上の滞納は市民税関係で個人分九十六件、法

歳 出

年ごとに高くなる  
「こみやし尿の処理費

問 四十九年度に比べ、不燃物処理委託料やし尿浄化槽汚泥運搬費が約二倍とふえた理由は何か。

答 環境保全課長 不燃物関係は四十九年度から単価を月額十五万円アップし、台数も二台から三台にふやしたことで、し尿浄化槽の関係は各家庭で水洗式のくみ取りがふえたことが原因である。

問 産業廃棄物処理などで他市町に迷惑をかけているようなことはないか。

答 環境保全課長 武蔵野地区の処理穴(さつき園)は不燃物の処理用に使っているが、この穴も二、三年はもつようであり、他市町に迷惑はかけていない。

各種の補助金交付  
専門委員で洗い直し

問 各種団体の補助金洗い直しのためプロジェクトチームをつくって検討しているというが、その後の経過を聞きたい。

助役 近く学識経験者を専門委員に任命して、補助金の洗い直しを行う予定であり、その結果によりどうするか決めたい。

問 老人福祉電話の設置を必要とする件数の見直しはどうか。

答 福祉事務所長 一人暮らしや寝たきりの老人を対象としており、五十年度は五台設置した。今後もある必要とする数をつかんでいきたい。

盛んな図書貸し出し  
冊数は標準程度

問 図書館の蔵書に対して約四

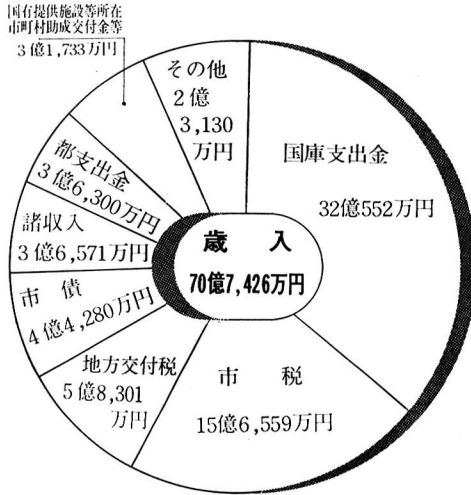
倍の回転率で貸し出しをされているが、本をふやす考えはあるか。

答 教養社会教育課長 五十年度末で三万六千冊となり、五十一年度を含めると約四万一千冊となる。二十六市の標準程度の蔵書数であるが、今後也十分留意して進めていきたい。

問 授業終了後の課外クラブの指導者に対する報償金について伺いたい。

答 教養学務課長 先生方に課外活動をしていたら報償として、土曜日は五百円、日曜日は千円ほど支払っている。

歳入歳出款別決算表



.....1億2,443万円(含む翌年度繰越財源1,391万円)

用語の  
ミニ解説



▽決算 会計年度(四月一日から翌年三月三十一日)の予算をどのように執行したかという状況を、数字であらわした計算表です。

会計年度が終わってから、五月三十一日までの出納整理期間があります。それから三ヶ月以内(八月三十一日まで)に決算書をつくり、厳正な監査を行った後、実質収支や財産に関する書類とともに議会に提出されます。

議会側では、その一年間収入が予定どおり入ったか、適切な支出が行われたか、法規どおり手続がされていたか、市民生活にどう反映されたかなどについて、悪い点があれば市長にお知らせすることを目的として、決算の審議を行います。

▽国庫支出金 市がやらなければならぬ仕事のうち、主に国の事務と思われるもの、国と市が互いに利害関係のあるもの、国の施策や市の財政上特別に必要とするものなどの費用に充てるために国から支出されるもので、負担金(身障者、老人、保育園児などへの援助)、補助金(校舎の増築、福祉駅の自由通路、公園などの建設)、国がやるべき仕事の委託金(国民

討論

第4回定例会を

傍聴された方々

(敬称略)

- 斎藤 博
- 山崎繁三郎
- 細谷 実
- 志村 豊子
- 篠崎 久治
- 大野 米子
- 細谷 測一
- 中村 初乃



議会を傍聴しましょう

次の定例会は

3月に開かれます

**反対** 本決算の大きな問題点は、歳出では民間保育園の職員の期末手当の援助費や児童措置委託料の中で、多額の金が多額に支出されているが、東京都の報告がないことを理由に、その実態が明らかになされていない。

又、歳入では、米軍人軍属の軽自動車税も一般市民と同率で徴収すべきであるが、わずかな条例改正による増にとどめ、米軍へのサービスを行っている。又、年度途中で都市施設整備基金へ繰り入れしたが、その一部を歳入に計上すれば福祉対策に回すことができ、市民の要望に応えることができただけだが、これらの対策をとることなくきたこと等の理由から、本決算に反対するものである。

**賛成** 五十年度は試練の年であつたが、歳入、歳出とも予算額も前年度より約二七%ふえ、かつ約五千七百万円の黒字になった。又、都市施設整備基金に約四千万円積み立てて、将来に備えたことは賢明な策である。反面歳出では市民会館、生活道路、公共施設、下水道等の整備、建設を進め、近代都市の基礎づくりの礎となつた年度でもある。

なお、財政基盤の弱い当市であり、今後とも市民福祉向上のため、国に建設事業のみでなく、維持管理費も補助対象とする働きかけを切望するものであるが、本決算は厳しい経済情勢下にあつて、市民福祉に徹したものと思われ、本決算に賛成するものである。

50年度は黒字で幕

歳入・歳出とも30%近い増

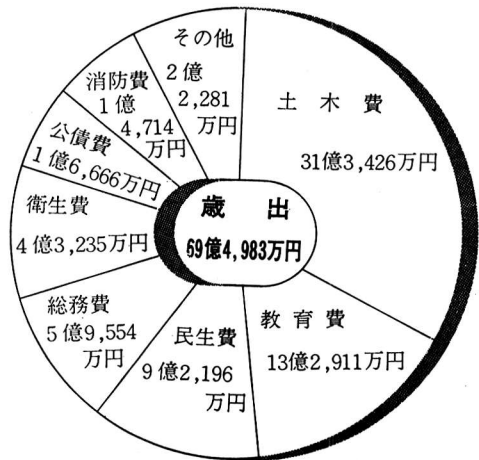
— 監査意見から —

決算総額は歳入70億 7,426万余円、歳出69億 4,983万余円で、前年度比は歳入 29.69%、歳出 28.68%の増である。又、実質収支額は1億 1,052万余円の黒字であり、前年度の実質収支額を引いた単年度収支においても 5,682万余円の黒字となっている。

＜歳入＞ 予算に対する収入率は 86.44%であり、前年度比 6.7%の増で、主な増は国庫支出金 76.59%、市債 29.32%、市税 11.36%等である。一方、主な減は地方交付税6.52%、都支出金4.34%、分担金 20.74%等である。

＜歳出＞ 予算に対する執行率は 84.92%で、前年度比5.97%の増である。執行率の低い原因は、予算の構成比の48.1%を占める土木費及び教育費の執行率が79%台と低いためであるが、他の科目は96%台と執行率は良好である。

昭和50年度



歳入歳出差引残金

▽地方交付税 国で計算した基準以上に財政が豊かな自治体には交付されません。福生市は財政的に貧弱なために交付され、国庫支出金と違って、使用制限はされません。

交付すべき総額(国税である所得税、法人税、酒税の三二%)のうち、九四%が普通交付税分とされ、需要額が収入額を超えた額(財源不足額)が交付されます。又残り六%が特別交付税分とされ、災害などの臨時的なもの、普通交付税では見られない特別な分が交付されます。交付税額は、学校数や人口、面積、道路等によって計算され、大変複雑になっています。

▽都支出金 国庫支出金と同じように、法で都が負担するもの、奨励上から支出されるもの、便宜的に市に委託されているものの費用に充てるために、都から支出されるもので、国庫支出金にさらに都が加算して行くもの、都の独自の考えで行う仕事、たとえば老人クラブや学童保育所への補助金なども市に入ってきます。

年金事務など、この三つの形で市に入っています。このお金は指定されたものには使えないので、ひもつき財源といわれ、仕事の種類によって国から支出される率は違います。

# 一般質問

は般た  
でまし  
例員い  
定議行  
第4回  
第4問

## 民俗資料の郷土館は 図書館建設してから

質問 急激な都市化により、市内の文化財や自然の保護対策は緊急の課題となりつつある。旧家の納屋などには、民俗、習慣を伝える貴重な資料等もあり、これらを収集し後世に残していく責任もあると思う。そのために郷土博物館の建設を提唱するものである。

市長 福生の古きをたずね、郷土愛をもって大きく飛躍することが正しいいき方と思う。現在文化

財専門委員会で調査し、保護をしているが、郷土館は図書館と一体のものと思う。しかし財政的に苦しいので、別に図書館を先に建てるから郷土館を考えたい。

## 古い学校の修理 支障がある所を優先

質問 福生市の将来をにう子供への教育は重要である。いままです校舎の新築や増築が盛んに行われているが、古くなった施設の改善も必要である。

①二小のプールも年数がかなりたっており、いたんでいるし、プールサイドも狭いので改善したらどうか。又、トイレも一部改修する必要があると思うがどうか。

②二小の通学路で、拜島映画館



通勤車が多く危険な二小通学路

前から国道のガードまでの間は交通量も多く、児童の通学に危険であるが、何か具体策はあるか。

教委庶務課長 ①四十年頃新築した校舎も老朽化し、修繕が急がれる部分も多くなってきたので、緊急度の高いところから順次予算化し、修理してきており、二小関係も小修繕をやってきた。今後とも学校運営上支障がある部分から優先して修繕していきたい。

建設課長 ②指摘された道路は幅が狭く、通勤車も多いために危険もある。現状では旧国道と市道の交差点に信号もあるが、幅員が七メートルしかなく、ガードレールを設置するのが困難なので、できるだけ早く関係者の協力を得て拡幅し、ガードレールを設置したいと思う。

## 来年から検討して 福祉の殿堂にする

—福祉会館—

質問 市長は前に、市民会館が完成したら、隣の福祉会館を福祉の殿堂にするんだと言われているが、具体的にはどうするの。

市長 なるべく早く図書館の本館をつくり、福祉会館内の図書館を移し、その後福祉会館を充実していきたい。結論については来年度からでも、この研究をするためのプロジェクトチームをつくって検討していきたい。



## 中学卒業時の住民票 無料化はむずかしい

質問 九年間の義務教育を終え進学へ、就職へと新たな人生に旅立つ中学卒業生が、自分のために初めて手にする公文書が住民票である。卒業祝いとしてその住民票を市から贈ったらどうか。

市長 趣旨は大変結構なことだが、多少まだ高校に進学しない人もいるかと思うし、他市ではまだ無料化の考えはないが、今後検討はしていきたい。

## 基地交付金が増すと 減る地方交付税

質問 収入額が支出額より少なかった自治体として、その分が国から地方交付税として交付されてくる。その計算基礎となる種地は「乙の五」というランクだが、基地がある特殊事情を考慮して、このランクを引き上げて、自由に使える地方交付税を少しでも多くもらえるような運動をしてきたかどうか。

市長 地方交付税は、需要額（必要経費）が全額市税でまかなわれれば、国から交付されない。それだけ財政が裕福だということであり、幸せなことである。しかし当市は将来も財政的に豊かにはなれないと思われ、そのために現在国が徴収している所得税、法人税、酒税の三二%を地方交付税分として自治体に配分されているが、これを四〇%に引き上げる運動を全国的にやっており、又、市としての種地の格上げも運動をしてきている。地方交付税と基地交付金は相関関係があつて、基地がある特殊事情を収入として認められると、その分は地方交付税から減額されるという結果になり、大変悩んでいるわけである。

企画財政課長 地方交付税には普通分と特別分とがあり、国が普通交付税を算定するときの補正係



予防衛生センターの接種風景

市民が受けやすいようにすべきたと思うがどうか。  
市長 暑い日や寒い日に、長い時間待たなくてもいいようにするために根本的に考え、なるべく早く適当な場所にセンターを建設したい。考え方は来年度頃から着手して、予防接種のみでなく、休日

数として、甲、乙、丙という種別があり、東京都の場合は都庁のある二十三区は甲地の八種、数値が九百五十点と一番高く、福生は都心から四十一キロ離れているので、乙地の五種、数値が八百三十点と低く、仮に福生を区と同じ係数で計算すると、本年度の需要額約十九億三千万円が約四十億円となり、それだけ多く交付されるが、これらは人口や学校数によって大きく変わる。  
基地については、特殊なものとして特別交付税に含まれ、防衛補助事業の自己負担分が一部算入さ

### 予防衛生センター建設

#### 来年度には着手

れている。基地の特殊性を需要額として計算に入れると、普通交付税が減額される危険性もあり、この点は自主財源確保のために、早急に研究してみたい。  
質問 五十年途中で予防衛生センターを利用した人数は一万三千人と多く、八十回以上も使われている。しかしこの施設は待合室も狭く、順番を待つ列が外にまでつ

診療や、将来は医師会の協力を得て、夜間診療もできるような理想的な施設にしたいと思っている。  
環境保全課長 現在のセンターができてから、隣の公益質屋も廃止となったので、五十平方メートル程度広げたが、敷地をこれ以上広げるのは無理であり、待合室等については今後検討したい。予防注射の日程については医師会側の関係で、一会場が五百五十人を対象に四カ所で行い、その日にできなかった場合は、他の会場でもやれるようになっていく。

なる状態である。その点の対策について聞きたい。又、病气予防のための予防接種の日程も、市民が受けやすいようにすべきたと思うがどうか。  
市長 暑い日や寒い日に、長い時間待たなくてもいいようにするために根本的に考え、なるべく早く適当な場所にセンターを建設したい。考え方は来年度頃から着手して、予防接種のみでなく、休日

### 不健全図書館の追放 市民ぐるみで運動

質問 当市は基地があるために歓楽街も多く、青少年に悪影響を与えている。又、青少年問題協議会では、非行を増長させる不健全図書館の追放運動をやっているが、その現状等を聞きたい。  
市長 最近そうした自動販売機による非行少年がふえているように、行政としてもその防止運動を始めたわけである。こうした図書館の販売は表現の自由等の問題があり、禁止するのは大変むずかしい。青少年問題協議会の力も弱く、市

民の皆様の絶大な御協力がないと防止できない問題である。結局、大人が読まなければいいわけである。  
教委社会教育課長 不健全図書館の問題につき、青少年問題協議会が、町会長協議会やPTA等の関係団体の協力を得て、不健全図書館の追放運動として広報活動している。調査の結果、この種の自動販売機が市内に十三台あるが、法的に取り締まることもできないため全市民の運動としてやっていかなければならないと思う。  
これからは設置者へ撤去のための依頼状等をお願いし、さらには図書館活動とか読書教室、スポーツ教室等を活発に行い、青少年のために良い環境づくりを行政としてやっていきたいと思う。

### ▷選挙管理委員を改選◁

国、都道府県、市町村で行う選挙の事務をするために選挙管理委員会がありますが、現在の委員（4人）と補充員（4人）の任期（4年）が12月24日で満了となるために、21日の本会議で選挙したところ、新しい委員と補充員が決まりました。

=委員= (敬称略)

- 板寺 昌一 本町38
- 吉岡喜代造 熊川759
- 寺田 音市 牛浜65
- 森田 新平 福生537

=補充員=

- 第1順位 大谷 光利 志茂46
- 第2順位 平原 治作 福生1,210
- 第3順位 天野 悦年 熊川54
- 第4順位 中森 信行 本町91

### 保育園増設はしない

#### 不正事件は都が調査

質問 子供を保育園に入れたという願いは年々高まってきている。去る十月、そうした願いを裏切るような私立杉の子保育園の不正実態が明るみに出た。市長は常に入りっぱな保育園だと答弁していたが、このことは単に民間保育園の問題でなく、いまままでに公立保育園をつくらず民間に委託してきた保育行政の進め方が問われなければならないと思うがどう考えるか。又、不正のあった杉の子保育園問題について行政側としてどう原因を分析し改善しようとするのか。  
市長 当市は園数、入園人数が

他市に比べて多く、公立の保育園を増設する必要はないと思つてゐる。私立、公立の問題もあると思つたが、財政面から考えても一般の篤志家による私立でお願いするのがよいと考えている。

基本的には保育に欠ける子供のめんどうをみるということであるが、他面、女性の職場への進出によつて、母親が働いている方が多く、やはり保育園は必要かと思ふ。しかしできるだけ子供は母親が育てていただきたいことをお願いしたい。

私立杉の子保育園の問題については、都の調査結果も出ておらず今後どう対処するかはつきりでき

### 防衛補助で建てた施設 維持費の獲得を運動

質問 新しい法律である「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」によつて補助金をもらひ、市民会館や本町地区、熊川地区の学習等共用施設を建設しているが、この補助金はほとんど建設事業であり、施設の維持管理費は含まれていない。今後この法律による補助事業の計画と、維持管理費についてお聞きしたい。

市長 基地は国の施設であり、市への援助は国が率先してやるべきである。市からお願ひするとい

ない。しかし市からも補助してゐり、不祥事として遺憾に思つてゐる。この監督権は都にあり、市は被害者である。今後は責任者である厚生省や都等で十分監督し、指導していただくようお願いしたい。

福祉事務所長 不正の内容は、書類よりも保母の人数が不足していたということであり、都の検査が終わり次第、市も対処していきたい。



うこととなく、国にやらせるんだという立場で困と交渉をしてきたが、今後いろいろな施設の維持費等についても運動をしていきたい。

企画財政課長 今後の防衛補助事業として、図書館、公園整備、本町排水幹線等数十億円が予定されている。補助事業による維持管理費は、学校防音工事に伴う電気代はきいてゐるが、そのほかはきいていない。補助金で建設した施設の維持管理費は今後必要であり、新しい法律による調整交付金の補助対象の範囲を拡大して、その必要経費を補助してくれるよう運動を進めていきたい。

## 第5回臨時会

— 10月29日 —

この臨時会には、本年度5回目の一般会計補正予算と、工事の請負契約2件が提案され、原案のとおり決まりました。

一般会計補正予算第5号は、建設中の市民会館や本町地区と熊川地区の学習等共用施設、横田基地東部の五日市街道交差点と市道の改修工事、一小、二小、一中、二中のサッシ（窓）改修工事などの合計1億277万円の補正で、予算の総額は72億320万6千円となりました。

又、工事請負契約案は、3月完成をめざして進行中の市民会館の大ホール、小ホール用いす1,462席を設置する工事、又、二小の除湿及び温度保持のため、現在ある機械を改修し、新しく機械を取りつける工事の2件です。

### ▷助役に篠崎俊夫氏を再選 ▷収入役に橋本孝蔵氏

52年1月末日で任期が満了となる助役と収入役の選任について市長から提案され、両氏が再び向こう4年間就任することを議会で同意しました。

助役 篠崎 俊夫 牛浜153  
収入役 橋本 孝蔵 福生1,301

### 陳 請 願



#### ▽不採択

◇請願第三号 市立保育園に精神障害児クラスを設置することに關する請願書  
福生九三二

関根美智子氏 外三二一人  
— 昭51・9・10提出 —

#### ▽継 続

◇陳情第二号（仮称）市民会館および公民館の使用料に關する陳情書

福生二三五六

桜井陽子氏 外一二五九人  
— 昭51・9・10提出 —

◇請願第四号 自主課税による税負担の不公平是正と税制改革による減税に關する請願書  
立川市曙町二一一五  
石野 昇氏  
— 昭51・9・22提出 —

#### ▽審議未了

◇陳情第一号 松生丸事件に關する陳情書  
立川市羽衣町三十七一四  
福田之保氏  
— 昭51・3・12提出 —

### あ と が き

昭和五十二年の新春を迎えてからそろそろ一カ月、お正月気分も抜けて、お忙しい毎日が続いていることと思ひます。今年も皆さまの議会報として御愛読くださるようお願いいたします。

昨年の暮れに行われた衆議院議員の選挙が終わつてすぐに十二月定例会が始まり、その主な内容をまとめてみました。

議会報についてお気付きの点がありましたら御一報ください。

電話 五一一一五一一

議会事務局